

サガタリウスチャレンジ チャレンジ部門

結果報告書

タイトル	地域と共に成長しようプロジェクト	
代表者	学部・学年	氏名
	経済学部 3年次生	高谷 圭
企画概要	<p>授業の一環で、京都府南部に位置する井手町の方とお話する機会がありました。そこで、井手町が抱えている「人口減少問題」について学びました。「人口減少問題」は、井手町だけでなく、現在の日本全体が抱えている問題です。この問題を解決する方法として、「定住人口」の増加が挙げられました。そのための、ファーストステップとして、「交流人口」の増加を促すプロジェクトを行いました。また、このプロジェクトを実行する中で発生する課題を乗り越えることで、自分たち自身も地域と共に成長できると考え取り組みました。プロジェクトの内容として、バスツアーを企画し京都産業大学の学生を井手町に誘致し、井手町内でイベント（歴史巡りスタンプラリー、特産品の開発、地域力アップ講演会）を開催しました。</p>	
結果報告	<p>イベントを計画するに当たって、役場や町づくり団体に協力していただき、町全体で取り組みました。イベント開催までに行ったことは、井手町をより多くの人に知っていただくための広報活動です。学内外で行われた行事に出向き、チラシの配布やビラの設置を行いました。また、我々の活動を新聞の取材やラジオ出演などにPRすることによって、幅広い広報を行うことができました。イベント当日、バスツアーには30名の学生に参加していただきました。町内のイベントでは、井手町の歴史を味わうことができるスタンプラリーは、町内外の子どもから高齢の方まで多くの人に楽しんでいただけました。新たな特産品の開発では、京都産業大学のハチミツと井手町特産のサツマイモを使ったコラボ商品「エネルギーバー」を開発しました。この商品は広報活動の際から様々なところで注目を浴びており、その期待に沿った仕上がりとなりました。当日は、用意していた数が即終了してしまうほどの好評ぶりでした。地域力アップ講演会では、西辻一真氏（村おこし活動家）を招いて、自己実現のエピソードや地域活性化についての意見を講演していただきました。学生には夢の実現を、地元の方には農業や地域活性化のアドバイスをいただき、お互いに実りのある講演会となりました。今回のイベントでは、「また来年も！」という声を多数いただき、微力ながらも井手町を盛り上げる手伝いができたと感じています。</p>	

感想

イベントを行うまでの準備期間は、本当に苦労しました。最初から全員が積極的に参加してくれていたわけではなく、個人の仕事量も違い不公平な時期もありました。しかし、お互いにぶつかりあい、本音で向き合うことで、だんだん一丸となって取り組むことができました。また、多数の外部の協力団体と関わることで、社会に出る練習になったと感じました。自分たちで協力の交渉を行ったり、会議の場で提案をするといった経験をして、大きく成長できたと実感しています。学生の無謀な意見を真剣に聞いてくださった関係者の方々に深く感謝しています。また地域の行事にも参加させてもらい、そこでは地元の人の温かさを感じました。私たちの取り組みを知って声をかけてくれる方や、何も知らないけれど興味を持ってくれた方、なぜか仲良くなって遊んだ近所の小学生など、前からここに住んでいたかのような対応をしていただいたことが、今でも心に残っています。

現在、地域活性化を行っているところは全国でもたくさんあると思いますが、その多くが単発的な取り組みになっていると感じます。しかし、私たちの取り組みはここからがスタートだと考えており、今回のイベントもほんの第一歩であると認識しています。私たちの取り組みを見て、町の中の人たちが今回のような取り組みを行ってくれば幸いだと考えています。イベントが終わった今でも、井手町との関係を深める意味も込めて、町の行事に積極的に参加させてもらっています。